科目名	小児看護特論（Topics of child nursing）			科目コード	248
開講学科	看護学科	選択区分	必修	単位数（時間）	１単位(15時間)
科目区分	専門科目	履修時期	４年次前期	関連DP	看①②③④
担当教員	枝川　千鶴子				
授業概要	これまでに小児看護方法論・母性看護方法論で学んだ「低出生体重児と家族の看護」と「新生児期の看護」の発展学習として、NICU等に入院する小児と家族および、在宅移行期の支援について教授する。本講義では、IBLのアクティブラーニング（グループワーク）を組み合わせ教授する。				
授業目標	１　低出生体重児の特徴を理解し、必要な看護について理解できる。 ２　NICUに入院した急性期から在宅移行期における小児と家族の看護について理解できる。 ３　授業や文献から、NICUに入院を余儀なくされた子どもと家族を支える看護について考察できる。				

授業計画

回	項目	内容
１～２	NICU/GCU に入院する子どもと家族の看護　１	低出生体重児の生理的適応変化、未熟性に伴う主要症状と看護 家族の気持ちに寄り添った看護
３～４	NICU/GCU に入院する子どもと家族の看護　２	低出生体重児の日常のケアと家族支援について、演習及びグループワーク
５～６	事例検討	NICU に入院した子どもの在宅移行期の看護について、グループワーク
7	学びの共有	発表と意見交換
8	まとめ	NICU 等に入院する小児と家族及び、在宅移行・在宅生活をおくる小児と家族に関する看護について、関心あるテーマを設定しレポートにまとめる。

成 績 評 価 方 法	グループワークの取り組み　20% プレゼンテーション・ディスカッション 20% レポート　60%
教科書	使用しない。 講義の進行に合わせて資料の提示及び文献を紹介する。
参考図書等	同上
授業時間外の学習について	課題の取り組みとレポート作成は時間内に行うが、文献などを積極的に読んで学習してください。
関連科目	155 臨床病態学Ⅲ、220 小児看護対象論、221 小児保健、222 小児看護方法論、 223 小児看護学実習、226 母性看護方法論、227 母性看護学実習、233 家族看護論 237 在宅看護論、244 ふれあい実習 本科目⇒245 総合実習
備　　考	実　枝川：看護師（医療機関） ・授業はスケジュールの都合上、変更する可能性があります。